

新型コロナワクチンとインフルエンザ予防接種は、同時接種可能
(新型コロナワクチンとインフルエンザ以外の予防接種は、原則として13日以上の間隔をおく)

オミクロン株対応ワクチン mRNA ワクチンの一つ



オミクロン株対応2価ワクチンは、
A.1対応型でも、BA.4-5対応型でも、従来の1価ワクチンを上回る効と、
今後の変異株にも有効である可能性が期待される
対応するオミクロン株の種類にかかわらず、機会を逃さずに接種するのが基本

【時期】令和4年9月20日から令和5年3月31日

オミクロン株(BA.1)と従来株に対応した2価ワクチン接種開始
9月27日から県が運営する大規模接種会場でも接種開始
原則として住民票のある市町の医療機関や集団接種会場で接種
オミクロン株(BA.4-5)対応ワクチンは、10月下旬からの予約開始、
11月上旬からの接種開始を見込んでいる(静岡市)

【対象者】2回接種を終え、前回接種から5か月以上経過した12歳以上

【手続き】「接種券」や「接種のお知らせ」が市町から届いたら、
その案内に従って接種の予約等の手続きを行う

なお、前回接種の後に転居(住民登録の異動)をした方には、
それ以降の接種券が届かないことがある
この場合は、転居先の市町に接種券の発行を依頼する

- 使用ワクチンは次の2種
 - ① ファイザー社オミクロン株対応2価ワクチン(対象は12歳以上)
 - ② モデルナ社オミクロン株対応2価ワクチン(対象は18歳以上)
- 従来のワクチンとオミクロン株対応ワクチンのどちらを接種?

「なるべく感染を防ぎたい」
「かかった場合でも重症化や後遺症をなるべく防ぎたい」
とお考えの方で、現時点で3回目又は4回目接種が可能な方は、
以下の理由から、オミクロン株対応ワクチンを待たず、
従来のワクチンを接種いただくようご検討下さい

 - ・感染がまん延し、感染リスクが非常に高い状況にあること
 - ・従来のワクチンの接種でも、オミクロン株に対する重症化予防効果があるとされていること
 - ・オミクロン株対応ワクチンの全体の供給量や時期が明らかでないため、希望する時期に接種できない(お待ちいただく)可能性があること

参考: 静岡県公式ホームページふじのくに、静岡県/ワクチンの接種を受けたい方 (pref.shizuoka.jp)
オミクロン株対応ワクチン | 新型コロナワクチンQ&A | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

新型コロナウイルス感染症流行期の自宅待機・療養について

報告は、入力フォーム https://req.qubo.jp/u_shizuoka/form/houkoku
学生は学生室 054-264-5009 教職員は総務室 054-264-5102
相談は、医務室 054-264-5117 健康増進室 054-264-5200

『健康観察表』を記入、登校・出勤時に医務室・健康増進室に提出し確認を受ける

○発熱等の風邪症状(のどの痛み、咳など)がある場合

症状消失・解熱後、解熱剤を使用せずに平熱が3日間続くまでは出席停止
風邪薬使用中も休む

熱剤を使用しないで解熱した日



発熱 大学を休む	発熱	解熱 平熱	平熱	平熱	登校 可能
-------------	----	----------	----	----	----------



発熱はないが、
のどの痛み、咳などがある場合は
症状が治まれば登校可能

*1. コロナの自己検査等で『陽性』の場合
→ 報告フォームに入力

[tps://shizuoka-jikokensa.jp/](https://shizuoka-jikokensa.jp/) 「自己検査・療養受付センター」
登録サイト (静岡県)

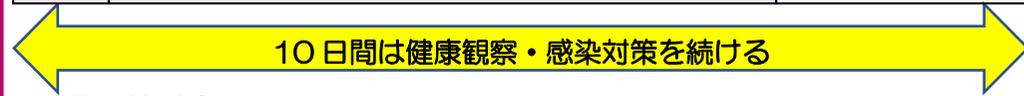


『健康観察表』をつける

- ・かかりつけに受診する
- ・発熱等受診相談センター
(054-249-2221)へ相談する
- ・新型コロナの自己検査をする*1

○新型コロナ陽性になった場合(自宅療養期間)

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
発症日	自宅療養(隔離期間)								呼吸器症状あり	医師許可		
									症状なし	登校可能		
無症状 検査日	自宅療養(隔離期間)								登校可能	健康観察表提出後 講義室・職場へ		



- 濃厚接触者の疑いがあれば5日間は登校禁止
体外診断用医薬品の表示のある抗原検査を2日目と3日目で陰性なら3日目登校可
- ★10日を過ぎるまでは他人に感染させる可能性があるため、健康観察表を記入し、
高齢者等重症化リスク者との接触回避、三密や会食等感染高リスクを回避

